

令和4年6月6日

## 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所教員公募

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所  
所長 佐伯 修

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所では下記の要領で公募を行うことになりました。ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、貴関係者にお知らせいただくとともに、適任者をご存じの場合は応募をお勧めくださいますよう、お願い申し上げます。

### 記

1. **公募対象**：助教1名（産休に伴う支援教員）
2. **専門分野**：数学・数理科学（分野は問わない）
3. **任期**：3年（更新なし）
4. **給与**：年俸制（令和2年4月1日導入の新たな年俸制）
5. **採用予定**：令和4年10月1日以降、遅くとも令和5年2月1日まで
6. **業務内容**：
  - ① 専門分野における研究の遂行
  - ② 大学院数理学府・大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・理学部数学科専門科目・工学部等の講義・演習，および大学院数理学府・大学院マス・フォア・イノベーション連係学府学生の研究指導の補佐
  - ③ マス・フォア・インダストリ研究所の運営に関連する業務
7. **就業場所**：マス・フォア・インダストリ研究所（福岡市西区元岡744）  
（受動喫煙防止措置：敷地内全面禁煙）
8. **就業時間等**：専門業務型裁量労働制により1日当たり7時間45分働いたものとみなす。  
休日：土日，祝日，12/29～1/3  
加入保険：雇用保険，労災保険，健康保険，厚生年金
9. **応募資格**：
  - ① 博士の学位を取得していること，または採用時まで取得見込みであること。
  - ② 数学の産業や諸科学分野への応用に関心があること。
10. **提出書類**：
  - ① 履歴書（写真貼付，電話番号・電子メール等の連絡先を明記）
  - ② 研究業績リスト（論文，著書，講演リスト，受賞，特許，競争的獲得資金，その他参考になる資料等）

- ③ 以下の項目に関して記載下さい。
- i) 研究業績の説明 (A4判用紙2枚程度)
  - ii) 将来の研究計画 (A4判用紙2枚程度)
  - iii) IMIの事業に対する抱負 (<https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/pages/about.html> を参照)  
(A4判用紙1枚程度)
  - iv) 産業界との連携や異分野融合活動 (経験がある場合) (A4判用紙1枚程度)
- ④ 論文別刷等 (主要な論文5編以内, その他必要と思われる資料)
- ⑤ ご本人について問い合わせることができる方3名の氏名と連絡先, およびそのうち1名からの推薦状。ただし, 推薦状に関しては推薦者の方が直接下記書類提出先に, 郵送もしくはオンライン提出で, 応募期限までにお送りいただくよう手配して下さい。

11. 応募期限: 令和4年8月8日(月)必着

12. 書類提出先および問い合わせ先:

〒819-0395 福岡市西区元岡 744  
九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所  
教員 (助教) 候補者選考委員会 縫田 光司 宛  
e-mail: jinji\_220808@imi.kyushu-u.ac.jp

「8. 提出書類」で指定された書類は, 郵送もしくはオンラインで提出して下さい。

■ 郵送の場合

書類 (推薦状を除く) は封筒に「IMI 教員 (助教) 応募書類在中」と朱書し, 簡易書留で郵送して下さい。

■ オンライン提出の場合

書類 (推薦状を除く) を zip 形式で固め, ファイル名は「Kyudai\_Taro\_220715.zip」のように申請者氏名\_提出日.zip として, 以下の URL からアップロードしてください。確認後, 受領メールを数日中にお送りします。

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/dmQwQAaJBEEAK9YBNEqAFef-GfWBQImfEftozoxChaPt>

13. その他:

1. 応募書類は原則として返却致しません。選考終了後に裁断・消去の処分をいたします。
2. 応募書類により取得する個人情報は, 本人事案件にのみ利用いたします。
3. 選考過程では, 対面もしくはオンラインで面接審査を行う場合があります。対面の場合の交通費は原則自己負担とします。
4. 九州大学では, 男女共同参画社会基本法 (平成11年法律第78号) の精神に則り, 選考を行っています。
5. 九州大学では, 「障害者基本法」, 「障害者の雇用の促進等に関する法律」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨に則り, 選考を行います。

6. 九州大学では、国際化を推進する観点から、採用後に英語による授業実施に積極的に取り組むことを求めています。
7. マス・フォア・インダストリ研究所については、下記をご参照下さい。  
<https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

以上